



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 コード番号 7886 URL <http://www.yamato-in.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 大助

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括 (氏名) 茂木 久男

TEL 03-3834-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,854	10.3	5		15	88.9	43	
29年3月期第3四半期	9,841	10.1	223	32.4	137	15.3	70	4.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 75百万円 (%) 29年3月期第3四半期 332百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	4.37	
29年3月期第3四半期	6.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	8,412	2,387	28.4	237.56
29年3月期	8,549	2,557	29.0	254.49

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,386百万円 29年3月期 2,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期期末配当予想については、未定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	7.5	230	33.2	180	14.1	110	62.1	10.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,171,797 株	29年3月期	10,171,797 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	123,697 株	29年3月期	123,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	10,048,100 株	29年3月期3Q	10,048,700 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が増加基調を維持し、雇用情勢や企業収益など緩やかな回復基調が続いているものの、欧米の政治リスクや北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりから、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、効率的な生産体制を構築し、高付加価値製品を製造できる技術の確立を目指すとともに、売上の拡大、利益率の向上を図るべく積極的な営業活動を展開してまいりました。

その結果、アミューズメントや中国子会社の売上が減少となりましたが、フィリピン子会社の売上が増加したことや、新たに国内の連結子会社が加わり、売上高は108億54百万円（前年同四半期98億41百万円）と増収となり、利益面では、新規連結子会社の業績改善費用が増加したことにより営業損失5百万円（前年同四半期利益2億23百万円）、経常利益15百万円（前年同四半期利益1億37百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円（前年同四半期利益70百万円）と減益になりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(合成樹脂成形関連事業)

国内でのアミューズメントや中国子会社の売上が減少となりましたが、フィリピン子会社の売上が増加したことや、新たに国内の連結子会社が加わり、売上高は92億75百万円（前年同四半期85億64百万円）と増収となりました。利益面では、経費削減に取り組んでまいりましたが、新規連結子会社の業績改善費用の増加により、営業損失40百万円（前年同四半期利益2億3百万円）と減益になりました。

(物流機器関連事業)

競合他社との価格競争が続く中、受注拡大に努め積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は15億78百万円（前年同四半期12億76百万円）、営業利益34百万円（前年同四半期利益19百万円）と増収、増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は84億12百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億37百万円減少しました。これは主に、現金び預金が増加したものの、機械装置及び運搬具が67百万円増加、リース資産が29百万円増加し、のれんが27百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は60億25百万円となり、前連結会計年度末と比べ32百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億12百万円減少、短期借入金が増加したことから、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は23億87百万円となり前連結会計年度末と比べ1億70百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が増加したものの、非支配株主持分が76百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,257	1,636,142
受取手形及び売掛金	2,910,248	2,913,906
商品及び製品	501,855	516,971
仕掛品	193,157	155,281
原材料及び貯蔵品	281,355	314,076
その他	166,535	151,369
流動資産合計	5,899,410	5,687,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	394,616	389,489
機械装置及び運搬具(純額)	580,571	648,335
土地	1,107,584	1,107,584
リース資産(純額)	81,583	110,948
建設仮勘定	5,985	3,268
その他(純額)	71,563	87,059
有形固定資産合計	2,241,904	2,346,687
無形固定資産		
のれん	147,221	119,617
その他	27,189	23,700
無形固定資産合計	174,411	143,318
投資その他の資産		
投資有価証券	51,082	54,233
その他	185,701	182,933
貸倒引当金	△2,830	△2,830
投資その他の資産合計	233,953	234,336
固定資産合計	2,650,269	2,724,342
資産合計	8,549,679	8,412,089
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,334,742	2,222,449
短期借入金	1,015,714	1,318,305
未払法人税等	63,825	44,295
賞与引当金	27,172	12,508
その他	403,913	419,311
流動負債合計	3,845,368	4,016,870
固定負債		
長期借入金	1,832,729	1,664,921
退職給付に係る負債	185,171	183,533
その他	129,219	159,702
固定負債合計	2,147,119	2,008,157
負債合計	5,992,488	6,025,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	785,172	763,504
利益剰余金	629,230	585,367

自己株式	△23,002	△23,002
株主資本合計	2,319,023	2,253,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,077	4,660
繰延ヘッジ損益	△83	80
為替換算調整勘定	164,692	128,842
退職給付に係る調整累計額	△7,114	△1,038
その他の包括利益累計額合計	160,571	132,544
非支配株主持分	77,594	1,023
純資産合計	2,557,190	2,387,061
負債純資産合計	8,549,679	8,412,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,841,035	10,854,636
売上原価	8,333,136	9,389,745
売上総利益	1,507,898	1,464,891
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	217,563	266,448
給料及び賞与	455,653	488,267
退職給付費用	38,780	39,106
その他	572,187	676,790
販売費及び一般管理費合計	1,284,184	1,470,612
営業利益又は営業損失(△)	223,714	△5,720
営業外収益		
受取利息	2,153	6,499
受取配当金	499	415
為替差益	-	35,709
受取手数料	5,033	5,840
受取賃貸料	45	45
受取設備負担金	-	7,298
その他	15,200	7,600
営業外収益合計	22,931	63,408
営業外費用		
支払利息	34,675	37,020
為替差損	68,124	-
支払手数料	270	-
その他	5,977	5,422
営業外費用合計	109,048	42,442
経常利益	137,597	15,245
特別利益		
固定資産売却益	104	602
特別利益合計	104	602
特別損失		
固定資産売却損	1,043	1,041
固定資産処分損	0	9,949
事業構造改善費用	1,462	-
貸倒損失	3,327	-
特別損失合計	5,834	10,990
税金等調整前四半期純利益	131,868	4,856
法人税等	71,574	47,859
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,293	△43,003
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,796	859
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	70,090	△43,862

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,293	△43,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,098	1,582
繰延ヘッジ損益	3,210	164
為替換算調整勘定	△403,356	△40,453
退職給付に係る調整額	4,565	6,075
その他の包括利益合計	△392,482	△32,630
四半期包括利益	△332,188	△75,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,699	△71,889
非支配株主に係る四半期包括利益	△28,489	△3,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,564,697	1,276,338	9,841,035	—	9,841,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,706	295	36,002	△ 36,002	—
計	8,600,404	1,276,633	9,877,037	△ 36,002	9,841,035
セグメント利益	203,777	19,936	223,714	—	223,714

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,275,871	1,578,765	10,854,636	—	10,854,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,044	124	33,168	△ 33,168	—
計	9,308,915	1,578,889	10,887,804	△ 33,168	10,854,636
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△ 40,040	34,319	△ 5,720	—	△ 5,720

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の減資について

埼玉ヤマト株式会社は平成30年1月17日開催の臨時株主総会において減資することを決議いたしました。

1. 資本金の減少の目的

前期からの損失を解消するため、また財務体質を早急に改善することを目的とし、資本金の一部を減少し、その減少額を欠損の全額に充てるものといたします。

2. 実施の要領

(減少する資本金の額)

平成30年1月17日現在の資本金の額2億2千万円を1億9千万円減少し、3千万円といたします。なお発行済株式総数の変更は行いません。

(効力発生日)

資本金の額の減少の効力発生日は、平成30年3月1日といたします。